

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年4月21日～2018年4月27日までの推移】

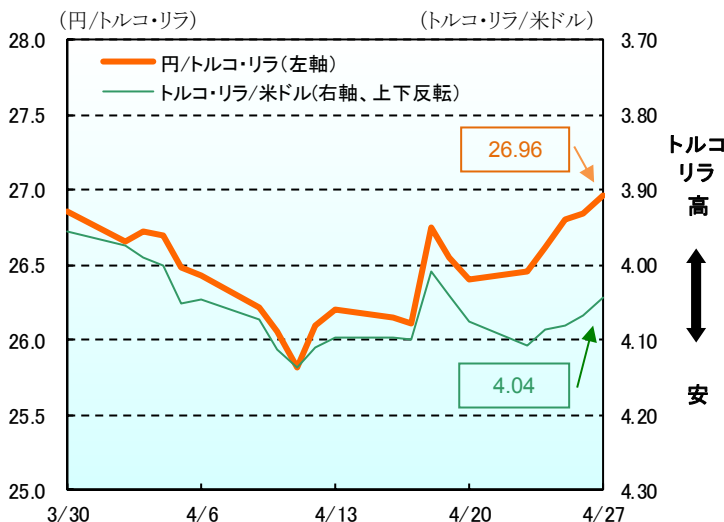
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で上昇しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

中央銀行は4月25日（現地、以下同様）に開催された金融政策委員会において、政策金利の一つである後期流動性貸出金利を0.75%ポイント引き上げました。市場の事前予想は見方が分かれていたものの、0.50%ポイントの利上げを見込む参加者が多かったため、おおむね市場の期待を上回る内容となりました。

中央銀行の金融引き締めを受けて、短期金利が上昇し、通貨は買い戻される展開となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年3月30日～2018年4月27日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

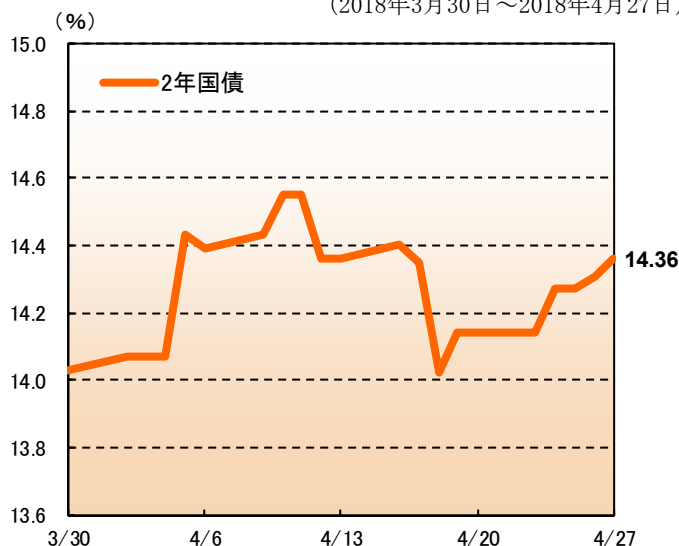
今週は、中央銀行のインフレ報告書や4月の消費者物価指数の発表が予定されています。先週の中央銀行の金融引き締めを受けて、少なくとも目先についてインフレ懸念が通貨安を加速させる可能性は低下していると考えられます。

6月24日に実施される総選挙は当面の材料として注目されます。与党AKP(公正発展党)およびエルドアン大統領が優位な状況は続くと考えられますが、今後の支持率の推移や、政府による人気取りのための経済政策が与える財政への影響等には注意が必要です。

またシリアをめぐる地政学リスクの動向や欧米諸国との関係に絡む発言等についても、引き続き相場を動かし得る要因として警戒していく必要があると考えます。

【トルコ 金利推移】

(2018年3月30日～2018年4月27日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>